



福島医発第2693号(地)

平成28年 1月12日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻一良

(公 印 省 略)

厚生労働科学研究事業「ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチンに係る
診療体制における協力医療機関等を受診している方を対象とした
調査研究」に対する協力依頼について

HPV ワクチン接種後に症状の生じた方に対する診療体制の充実のために、協力医療機関等を受診している方を対象に、その症状の背景・経過・治療等に関する実態を分析し、予後に関連する因子を検討するため、標記研究が厚生労働科学研究事業として実施されることとなりました。今般、厚生労働省より日本医師会を通じて協力依頼があり、平成28年1月7日開催の全会第31回全理事会において協議の結果、本研究に協力することといたしました。

本件は、県内4か所の協力医療機関に対しては、別紙の通り、厚生労働省健康局健康課及び当該研究事業研究班より直接依頼がなされておりますが、症状を生じている方の中には協力医療機関以外の施設を受診している方も多くいることから、当該研究事業への医師会員の協力をお願いするものであります。

つきましては、貴会におかれましても本件につきましてご了解いただき、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

なお、本研究に協力いただける施設におかれましては、当該施設において倫理審査委員会での審査が必要となります。自施設で審査ができない医療機関につきましては、県内の協力医療機関の倫理審査委員会にて併せて審査いただくことも可能ですので、その場合は1月25日(月)までに全会地域医療課(TEL: 092-431-4564)へご連絡いただきますようお願いいたします。

小郡三井医師会より

予防接種担当理事 田中泰之
会長 廣瀬真恵

平成27年12月24日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
小 森 貴

厚生労働科学研究事業「ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンに係る
診療体制における協力医療機関等を受診している方を対象とした
調査研究」に対する協力依頼について

HPVワクチン接種後に症状の生じた方に対する診療体制の充実のために、協力医療機関等を受診している方を対象に、その症状の背景・経過・治療等に関する実態を分析し予後に関連する因子を検討するため、標記の研究が厚生労働科学研究事業として実施されることとなり、厚生労働省より本会に対して協力依頼がまいりました。

本件は、症状を生じている方の中には医師会員の医療機関を受診している方も多くいることから、当該研究事業への本会会員の協力をお願いするものであります。

なお、同研究班事務局からは、各協力医療機関に対して別添の協力依頼がなされております。

つきましては、貴会におかれましても本研究の趣旨をご理解いただき、貴会管下郡市区医師会及び医療機関に対する周知協力方につきまして、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

事 務 連 絡
平成 27 年 12 月 17 日

公益社団法人日本医師会
常任理事 小森 貴 殿

厚生労働省健康局健康課

厚生労働科学研究事業に係る協力依頼について

ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状については、その臨床経過、治療が非常に多様であり、現時点ではその全体像は明らかになっておりません。

今般、これらの症状を生じた方に対する診療体制の充実のために、協力医療機関等を受診している方を対象に、その症状の背景・経過・治療等に関する実態を分析し予後に関連する因子を検討するための研究を、下記により厚生労働科学研究事業として実施することとしました。

研究班事務局からは、各協力医療機関に対して別添のとおり協力依頼がなされていますが、症状を生じている方の中には貴会員の医療機関を受診している方も多くいることから、本研究への協力について特段の御配意をいただけるよう、貴職からも貴会員に対して重ねて協力依頼をお願いいたしたくよろしくお取り計らい願います。

記

研究課題名：ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンに係る診療体制における協力医療機関等を受診している方を対象とした調査研究

研究の期間：平成 27 年 12 月以降順次開始し、平成 30 年 3 月まで

研究代表者：祖父江 友孝

国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座（環境医学）

住 所：大阪府吹田市山田丘 2-2 F1

電 話：06-6879-3922 F A X：06-6879-3929

本件に関する問合せ先：喜多村 祐里 (E-mail: hpv_kenkyuhan@envi.med.osaka-u.ac.jp)

研究対象施設：ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関等

事 務 連 絡
平成 27 年 12 月 17 日

都道府県衛生主管部（局）御中

厚生労働省健康局健康課

厚生労働科学研究事業に係る協力依頼について

ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状については、その臨床経過、治療が非常に多様であり、現時点ではその全体像は明らかになっておりません。

今般、これらの症状を生じた方に対する診療体制の充実のために、協力医療機関等を受診している方を対象に、その症状の背景・経過・治療等に関する実態を分析し予後に関連する因子を検討するための研究を、下記により厚生労働科学研究事業として実施することとしました。

研究班事務局からは、各研究対象施設に対して別添のとおり協力依頼がなされていますが、貴部局からも管内医療機関（協力医療機関を含む）に対し、本研究への協力について特段の御配意をいただけるよう、重ねて協力依頼をお願いいたしたくよろしくお取り計らい願います。

記

研究課題名：ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンに係る診療体制における協力医療機関等を受診している方を対象とした調査研究

研究の期間：平成 27 年 12 月以降順次開始し、平成 30 年 3 月まで

研究代表者：祖父江 友孝

国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座（環境医学）

住 所：大阪府吹田市山田丘 2-2 F1

電 話：06-6879-3922 F A X：06-6879-3929

本件に関する問合せ先：喜多村 祐里 (E-mail: hpy_kenkyuhan@envi.med.osaka-u.ac.jp)

研究対象施設：ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関等

2015 年 12 月

各協力医療機関 ご担当医 殿

「ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンに係る診療体制における協力医療機関等を受診している方を対象とした調査研究」への参加のお願い

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、本研究班は、「ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンに係る診療体制における協力医療機関等を受診している方を対象とした調査研究」を実施することになりました。本研究は、厚生労働省の指定研究班「子宮頸がんワクチンの有効性と安全性の評価に関する疫学研究」の一環として実施されるものです。

HPV ワクチンについては、接種後に広範な慢性の疼痛や自律神経失調などの症状がみられたことから、平成 25 年 6 月以降、定期接種の積極的な勧奨を差し控えられています。これらの一部は、経過が長期にわたり、症状も多様であることから、全体像の把握が困難になっています。また、一部の症例では、徐々に症状の改善がみられ、回復に至るケースも認められますが、その臨床経過や治療は様々です。

今後、診療体制の充実には、これらの症状について、背景・経過・治療などの点で予後改善に関連する因子を検討することが必要であり、症状を呈しているご本人からの聞き取り調査の実施が必要であると考えられます。

今回、貴施設におかれまして、HPV ワクチン接種後にこれらの症状を呈し、現に有する症状によって加療継続中の患者様を対象に、本人記載の症状の把握とともに受療実態を分析し、予後に関連する因子の同定ならびに評価を行うことを目的としています。

現に症状を有する患者様の研究への参加を支援するため、調査票の記載等にご協力いただけた参加者へは、調査協力支援金(初回 10000 円、2 回目以降月 7000 円)として謝礼をお支払いします。

なお、貴施設における倫理審査委員会での承認申請をはじめとする調査開始までの準備作業を、研究班事務局において出来る限りサポートさせていただき所存です。手順の詳細及び使用する資料等につきましては、別途郵送させていただきます。ご不明な点がございましたらいつでもお気軽に研究班事務局までお問い合わせいただければ幸いです。

ご多忙のところ恐縮ではございますが、本研究の趣旨をご理解頂くとともに、何卒ご協力を賜りたくよろしくお願いいたします。

敬具

厚生労働科学研究費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）

「ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンに係る診療体制における協力医療機関等を受診している者を対象とした調査研究」

研究代表者 祖父江 友孝（大阪大学 環境医学）
研究分担者 柴田 政彦（大阪大学 疼痛医学）

◆調査全般に関する問い合わせ先(事務局)：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 F1
大阪大学大学院医学系研究科 社会医学講座(環境医学) 喜多村 祐里
電 話：06-6879-3922 F A X：06-6879-3929
E-mail：hpv_kenkyuhan@envi.med.osaka-u.ac.jp

謹啓 時下益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素から予防接種対策の推進に御支援、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状については、その臨床経過、治療は非常に多様であり、現時点ではその全体像が明らかになっておりません。

今般、これらの症状を生じた方に対する診療体制の充実のために、協力医療機関等を受診している方を対象に、その症状の背景・経過・治療等に関する実態を分析し予後に関連する因子を検討するための研究を、下記により厚生労働科学研究事業として実施することとしました。

つきましては、御多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、本研究への協力について特段の御配意をいただけるようお願い申し上げます。

なお、研究班から、別途、本件に関する説明会の案内がありますので、説明会への出席についても御検討いただきますよう併せてお願い申し上げます。

敬白

平成27年12月16日

厚生労働省健康局健康課
課長 正林 督章

各研究対象施設の長 殿

記

研究課題名：ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンに係る診療体制における協力医療機関等を受診している方を対象とした調査研究

研究の期間：平成27年12月以降順次開始し、平成30年3月まで

研究代表者：祖父江 友孝

国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座（環境医学）

住 所：大阪府吹田市山田丘2-2 F1

電 話：06-6879-3922 F A X：06-6879-3929

本件に関する問合せ先：喜多村 祐里 (E-mail: hpy_kenkyuhan@envi.med.osaka-u.ac.jp)

研究対象施設：ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関等